

2010年度東海地区協議会研究会第1回運営委員会議事録

《日 時》2010年4月16日（金）15時～16時30分

《場 所》中京大学図書館

《出席者：敬称略》

中島（豊橋創造）、随原（豊田工業）、宮部（愛知）、大平（愛知学院）、紫藤（愛知工業）、秋田（愛知淑徳）、高木（中部）、八鳥（名古屋外国語）、中田（名古屋学院）清洲（名古屋女子）、紅露（南山）、小川（名城）、中河原（中京）、渡邊（中京）

議事に先立ち、自己紹介がなされた。

議題

1. 2010年度運営委員について

下記の様に2010年度の本委員会の役割分担と担当者（大学）が示され、承認された。また各担当者は必要に応じ、担当者会議を開き、その日時、場所、出席者、議題、決定事項を運営委員会まで報告する（議事録は提出する必要はない）旨が確認された。また担当者会議でのお茶等の費用は研究会予算から充てられるので、必ず立替の領収証の提出のお願いがなされた。

- ・ ウェブサイト管理：愛知、中部（リーダー）、名古屋学院
- ・ アンケート：愛知工業、豊田工業、名古屋女子、南山（リーダー）
- ・ 研修会：豊橋創造、愛知淑徳、愛知学院、名古屋学院、名城（リーダー）
- ・ 書記・会計：中京大学

2. 研究会について

資料に基づき、議長より、2010年度研究会事業計画案全体が示され、内容等協議され、承認された。また研究会についても内容が詳細に検討され、承認された。

研究会

① 第1回 2010年7月2日（金）12：30～17：00 愛知学院大学

- ・ 受付を当初の案より30分早め、12時30分からとし、グループ討議の時間を15時～16時30分の90分間とする。
- ・ グループ討議は人数に応じ、3～5グループに分けることとなり、3グループの場合、各グループのリーダーとして高木委員（中部）、八鳥委員（名古屋外国語）、紅露委員（南山）が選ばれた。また1グループ増えるごとに小川委員（名城）、宮部委員（愛知）の順にリーダーとして当たることとなっ

た。なおグループ討議の記録者と報告者はリーダーに一任することとなった。

- ・ 第1回研究会の案内状の発送、当日の司会と「館灯」用の記録者は、中島委員（豊橋創造）となった。
- ・ 「館灯」用の記録のフォーマットは高木委員（中部）が作成することとなった。
- ・ グループ討議のテーマは講演会のテーマと関連させた方がよいということで講師に相談することとなった。
- ・ 講師謝礼は交通費を含め5万円となった。
- ・ 研究会の部屋割り及び研究会後の意見交換会の場所（予算に見合うように）は会場校担当の大平委員（愛知学院）に一任することとなった。

② 第2回 2010年11月11日（木）又は18日（木）10：00～17：00 名城大学

- ・ 講師候補として牟田静香氏（NPO 法人男女共同参画おおた）が挙げられ、承認された。講師への講演依頼は中河原（中京）がすることとなり、講師の都合を聞き、研究会の日程を11月17日（水）か18日（木）のいずれかにすることとなった。
- ・ 講師候補の牟田静香氏の交通時間から鑑みて、講演は午後に設定し、その後ポスターセッションとスケジュールが続くようにし、事例発表を午前を持っていくこととなった。
- ・ 講師謝礼は未定。

3. 実務担当者研修会

2010年9月2日（木）～3日（金） 愛知大学豊橋校舎（宿泊はホテルシーパレス
リゾート）

- ・ 開会挨拶は、委員長がすることとなった。
- ・ スケジュールの中のワーキング概要については、他のワーキング参加者にも互いにかかるようにワーキングの目的、情報共有を示唆する内容を盛り込むこととなった。
- ・ ワーキングの内容・企画については今月中に担当者で案を煮詰めることとなった。
- ・ 会場の備品として、プロジェクター、スクリーン、ノートパソコン等の確認依頼が会場校の宮部委員（愛知）になされた。
- ・ スケジュール案の変更があり、ワーキング発表順備を13：30～14：15、ワーキング発表を14：15～15：00、休憩を15：00～15：20、質疑応答、全体会議を15：20～16：00へ変更された。
- ・ 講師謝礼は交通費を含め5万円となった。

以上内容が検討され、承認された。

4. 2010年度研究会予算（案）について

議長より、資料に基づき、2010年度研究会予算（案）について説明がなされ、協議の結果、承認された。

2010年度は、実務担当者研修会の開催があるため、研究会支援費を20万円増額したことが詳説された。

第2回運営委員会：5月26日（水） 15時～ 愛知学院大学

以上

議長 中河原省三 （中京大学）

書記 渡邊 英二 （中京大学）